

製品名: SP-A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18156**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

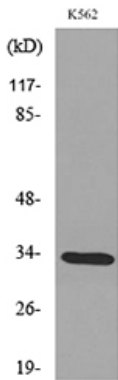
遺伝子名	SFTPA2/SFTPA1 SFTPA2; COLEC5; PSAP; SFTP1; SFTPA; SFTPA2B; Pulmonary surfactant-associated protein A2; PSP-A; PSPA; SP-A; SP-A2; 35 kDa pulmonary surfactant-associated protein; Alveolar proteinosis protein; Collectin-5; SFTPA1; COLEC4; PSAP;SFTP1; SFTPA; SFTPA1B; Pulmonary surfactant-associated protein A1; PSP-A; PSPA; SP-A; SP-A1; 35 kDa pulmonary surfactant-associated protein; Alveolar proteinosis protein; Collectin-4
別名	
遺伝子 ID	729238.0
SwissProt ID	Q8IWL1
免疫原	抗血清はヒト SFTPA1/2 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲:

背景

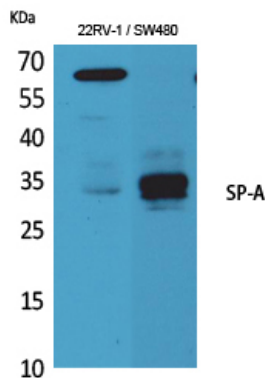
この遺伝子は、10番染色体に位置する肺サーファクタント関連タンパク質 (SFTPA) をコードする複数の遺伝子のうちの1つです。この遺伝子および近傍に位置する非常に類似した遺伝子の変異は、高度に保存された糖鎖認識ドメインに影響を及ぼすため、特発性肺線維症と関連しています。アセンブリの現在のバージョンでは、重複の結果と考えられていた以前のアセンブリで示された2つの遺伝子ペアではなく、1つのセントロメア SFTPA 遺伝子ペアのみが表示されています。[RefSeq 提供、2009年9月]機能: カルシウムイオンの存在下でサーファクタントリン脂質に結合し、哺乳類の肺胞における気液界面の表面張力を低下させるのに寄与し、正常な呼吸に不可欠です。、その他: 肺サーファクタントは、90%の脂質と10%のタンパク質で構成されています。サーファクタント関連タンパク質は4種類あり、コラーゲン性糖結合糖タンパク質 (SP-AとSP-D) が2種類、小型疎水性タンパク質 (SP-BとSP-C) が2種類あります。、多型性: SFTPA2には少なくとも6つのアレル (1A、1A(0)、1A(1)、1A(2)、1A(3)、1A(4)) が知られています。ここに示した配列はアレル1A(0)のもので、類似性: SFTPAファミリーに属します。、類似性: C型レクチンドメインを1つ含みます。、類似性: コラーゲン様ドメインを1つ含みます。、サブユニット: 6組のホモ三量体からなるオリゴマー複合体です。、

研究分野

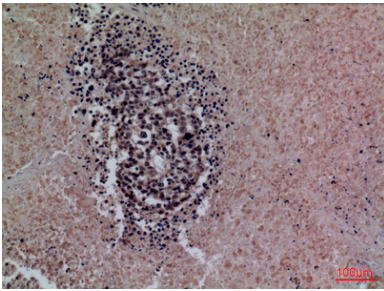
画像データ



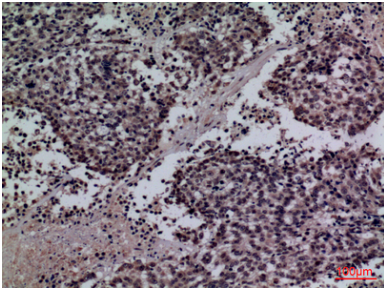
SFTPA1/2 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウェスタン プロット分析。



SP-A ポリクローナル抗体を用いたマウス肺細胞 K562 のウェスタンプロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された